



今月の 大植 びと

釜石高等職業訓練校 配管科1年

小林 大心さん

先輩に支えられて、 次の目標を見据えて

今月の大植人は、10月24日(木)に滝沢市の岩手県産業文化センターで開催された岩手県若年者技能競技会の配管科において岩手県知事賞を受賞した釜石高等職業訓練校配管科1年の小林大心さんです。

働きながら学校へ、 現場ですぐに使える技術を

(株)東北水道工事で働きながら、週に1度、職業訓練校に通っています。訓練校では教科書を使った学習のほか、実技などもあります。今回参加した競技会は訓練校が毎年参加しているもので、日頃の勉強の成果をしっかりと出すことができました。訓練校で習うことは基本的な知識はもちろん、実際の現場ですぐ活用できるものなども多く、とても身になります。また、訓練校に通うためには現場での作業との調整が必要になります。

が、職場の先輩方も理解してくれているのでありがたいです。今回の受賞はその先輩方の想いに少しでも応えることができたと思うし、引き続きしっかりと勉強していきたいです。

競技会は、事前に渡された試験内容をひたすら練習して臨みます。当日は、組み上げる図面を書いて実際に配管するまで3時間で組み上げること。そして、配管にずれがないか、水圧に耐えられるか検査されます。ただ、これらの検査は実際の現場でも大事にしているし、たくさん練習したので、あまり緊張せずに取り組むことができました。

今は鶴住居の現場で働いています。先輩方はとても頼もしく、教わることはまだまだたくさんあります。それこそ、自分が初めて現場を任せられた時は、分からない箇所を先輩に聞きながら、なんとか終わらせることができました。初めて任されて、先輩の手を借りながら終わらせた現場は今でも印象に残っています。だんだんに自分にも先輩ができてくると思うので、先輩のように頼られる存在になりたいです。

また、再来年に全国大会があるので、現場での作業も学校での訓練の両方をしっかりと行って行きたいです。

